

# 教育センター通信

## ほど 火床の火の心を紡ぐ

第9号（通算第15号）  
平成26年12月12日  
三条市小中一貫教育推進課  
教育センター 発行

第三中区「合同小刀体験学習（竹箸づくり）」（11月28日）  
※第三中1年生と学区の小学校4年生が交流しました！



## “小中学生の交流活動”にかける願い

かつての子どもたちは、小学校入学前から地域や家庭の中で様々な社会体験・生活体験をし、年齢相応の規範意識や協調性、忍耐力を身に付けていました。しかし今は、都市化や少子化の進展、携帯電話やネットの普及などにより、大勢で遊んだり友達と語り合ったり、他人と協力し合ったりといった、多様な人間関係の中で社会性や対人関係能力を身に付ける機会が減ってきています。その結果、地域や家庭といった本来社会性を育成する場で、社会性が育まれにくくなってきています。

最後の砦は学校です。学校で社会性や対人関係能力を身に付けさせるには、人間が好き、みんなと遊ぶのが好き、といった“自発的な感情”が核となります。教師の押し付けではうまくいきません。様々な他者と関わる実体験から獲得される、人と触れ合うことの楽しさや集団の中の一員として役割を果たすことの充実感。中でも「お世話するーされる」という異年齢の関係から獲得する「認めてもらえて嬉しかった」「役に立ててよかった」「必要とされていると感じた」等の感覚。そうした自信や誇りを“自己有用感”と呼んでいます。それがあれば、少々面倒だったり大変だったりしても、子どもは自ら進んで他者と交わろう、社会と関わろうとします。他者との交わりや関わりが深まる中で、激動の21世紀を生き抜いていく力となる“社会性や対人関係能力”を身に付けていくのです。

このような考えから、三条市教育委員会では“小中学生の交流”を積極的に推進しています。市内の小中学校では、様々な機会を捉えて“小中学生の交流活動”や“小学校間の交流活動”を進めています。全中学校区で実施している「深めよう 絆 スクール集会」もその一つです。

※大きな社会問題となっている“いじめ問題”を克服するために、新潟県は昨年度から「いじめ見逃しゼロ県民運動」を推進しています。それを受け、三条市の小中学校では様々な取組を行っています。

「深めよう 絆 スクール集会」はその中核となる取組です。なお、内容によって「いじめ見逃しゼロスクール集会」と呼ぶなど集会の名称が異なっています。

※「第二中学校区」と「第三中学校区」は第7号に、「下田中学校区」は第8号に掲載しましたので、今号では残りの6中学校区の「深めよう 絆 スクール集会」等の様子を紹介します。

## いじめ見逃しゼロスクール集会…大島中学校区

7月15日、大島中学校で、大島小学校と須頃小学校の5・6年生、大島中学校全校生徒が集まり、標記の集会が行われました。生徒会長の開会のあいさつに続いて、「おおしま あったかるた句会」が行われました。小学5年から中学3年までの縦割り班（15班）で、「大島中学校区をあたたかい言葉でいっぱいにしよう」という思いのもと、「5・7・5」を作りました。それぞれが作ったものを発表し合い、班の代表とする句を決めました。その後、全体の前で声を合わせ、発表しました。

「がんばれと 言った人も 超元気」「学校で 笑顔が奏でる ありがとう」「ゆるさない 人をいじめる その気持ち」「人間は 絆と心で 深まるよ」など、素晴らしい句が次々と発表されました。



続いて、先ほどの縦割り班で、「おおしま あったかるたとり」をしました。すべて終了後、自分が取ったかるたのうち、いいと思ったものを班の中で紹介し合いました。



その後、生徒会役員が「いじめ見逃しゼロスクールのための提言」を発表しました。「私たちの学区は全員が主役になれる素敵な学区！」という言葉が印象深かったです。

## いじめ見逃しゼロスクール集会…栄中学校区



10月9日、栄中央小学校体育館に、栄中央小学校・栄北小学校・大面小学校の6年生、栄中学校1年生が集まり、「いじめ見逃しゼロスクール集会」が行われました。ウエルカムセレモニーで始まり、栄中央小代表が「いじめをなくすためにアイデアを出し合い、価値ある集会にしましょう」と、力強く開会の言葉を述べました。続いて、いじめをなくすために各校の取組の紹介がありました。（主なものを掲載）

- 栄中央小 挨拶運動、縦割り班活動の活性化、縦割り班遠足
- 栄北小 スローガン作成、みつばっ子集会、全校遊び
- 大面小 意識付け（ポスター、劇等）、週1回の席替え
- 栄中 全校レクリエーション、挨拶運動

『仲間づくりゲーム』は栄中1年生が進行しました。各校2人以上が入った10人グループを作り、小学生は修学旅行の思い出を、中学生は部活動で頑張っていることを発表しました。最初は緊張気味で表情が硬かった子どもたちでしたが、4回目のグループ作りが終わる頃には笑顔になっていました。『共同制作』は「絆の輪づくり」でした。グループで輪になって、各自がいじめをなくすためのアイデアを用紙に書き、台紙に貼りました。30個できた「絆の輪」は各校に持ち帰りに掲示しました。

『感想発表』では、各校の代表が思ったこと・感じたこと等を述べました。（以下は要約したもの。）

- ・各校の取組を聞いてすごいと思った。仲間づくりゲームで仲良くなった。
- ・1人になるとこわい。絶対に1人を作ってはいけないと思った。
- ・いじめを減らすのではなく、なくすこと。そのためには小学校と中学校の関わりが大切だ。

最後に大原栄中央小校長が「相手を認め、自分を認めることがいじめをなくします。」と呼びかけ、集会を閉じました。※栄中学校区は4校の持ち回りで標記集会を実施しています！

## みんなで作ろう 仁愛協和 の輪スクール集会…本成寺中学校区



11月5日、本成寺中学校体育館に、西鱈田小学校・月岡小学校の6年生、本成寺中学校全校生徒が集まり、標記の集会が行われました。西鱈田小代表が「大切なのは行動です。この集会で行動ができるようにしていきましょう！」と開会の挨拶を述べました。続いて、本成寺中生徒会長がテーマの“仁愛協和”の意味するところを熱く語りました。

その後、テーマに沿って話し合ったことを発表しました。

- 月岡小…笑顔で挨拶、ほめる、場を盛り上げる
- 西鱈田小…やめよう自分基準、考え合う、助け合う
- 本成寺中…挨拶、話しかける等（1年）感謝の言葉、明るい挨拶（2年）笑顔、挨拶、コミュニケーション（3年）

そして講演会。講師は新潟お笑い集団NAMARAの高橋なんぐ様と金子ボボ様。講師二人の絶妙な掛け合いによる“滑舌練習、クイズ、海外での体験紹介”で参会者を笑いで楽しませながら、「ネットで犠牲にしているのは勉強と睡眠！」「手渡すことは最高のコミュニケーション！」等を訴えました。

続いて講師の指導によるグループワーク。異学年グループで輪を作り、講師が出したクイズ（※）を全員で考えました。その後、「今、学校生活において自分が直面している問題を思いのたけ書き出す。」「そのことを『どうしたら…』で始まる肯定的な文章に書き換えてみる。」の2つを参会者にさせ、「書くことによって人は自分と向き合い、人の発表を聞いて人も自分と同じことで悩んでいることを知る。」と訴えました。最後に「地球戦隊5レンジャー」を使った紙芝居でまとめをして終了しました！

※①お店の店員が～なのは日本だけ ②～の店で食べたいと思うのは日本だけ ③屋外に平気で～機が存在しているのは日本だけ ④日本は世界で一番～が多い。〔ヒント〕①接客②興味・関心③安全④食

## いじめ見逃しゼロスクール集会…第一中学校区



11月7日、嵐南小学校5・6年生と第一中学校全校生徒が体育館に集まり、標記の集会が行なわれました。開会の挨拶で、生徒会副会長が「この集会の目的は、いじめをなくすことと小学生と中学生が仲良くなることです。」と呼びかけました。遠藤第一中校長の講話の後、集会の進め方や自己紹介の仕方（詳細は下表）の説明がありました。

- ①「私はAの好きなAです」
- ②「私はAの好きなAさんの隣のIの好きなBです」
- ③「私はAの好きなAさんの隣のIの好きなBさんの隣のUが好きなCです」 以下同様の形で続く。

小5～中3で編成した縦割班70グループが各教室に移動し、グループごとの活動に入りました。まず自己紹介。続いて、1週間前に相談して決めた遊びを行いました。ウノ、トランプ、椅子取りゲーム、何でもバスケット等を楽しみました。自己紹介時は緊張していましたが、一緒に遊びをする中でだんだん和やかな雰囲気になっていきました。中学生が積極的にリードする姿も印象的でした。

放送の合図で、「100万人行動宣言」を一人2枚ずつ書き、その後、グループ内で発表しました。

- ・いつでも
- ・いじめを受けている人には、いつでも手を差し伸べる
- ・じしんと勇気をもって
- ・自分がされていやなことは相手にしない
- ・めをそらさない

その後、生徒会長の放送による指示のもと、「いじめ撲滅宣言」を全員で唱和しました。

- ・私たちは、人を思いやる気持ちを大切にして、やさしい心で人に接します。
- ・私たちは、いじめている人を見たら、勇気をもって止める行動を行います。
- ・私たちは、絶対にいじめを許さない人間関係、いじめを許さない学校づくりをします。

※午前中に1～4年生が、各学級で「道徳授業」を、全体で「仲良くなるゲーム」を実施しました。

## 深めよう 絆 集会…第四中学校区



11月27日、第四中学校体育館に、井栗小学校・旭小学校・保内小学校の6年生、第四中学校全校生徒が集まり、標記の集会が行われました。第1部は講演会。子どもたちは1時間、身じろぎせずに講師の話に聞き入っていました。(講演内容の要約を下記に記載)

第2部は生徒会主催の交流会。30の縦割り班で、絆づくりゲームを行いました。聖徳太子ゲームは、4人が異なる言葉を同時に言い、残りのメンバーが4つの言葉を言い当てるゲームです。「もっと大きな声で言って!」「もう1回言って!」そんな声が飛び交いました。風船百足リレーでは、グループ1列になり間に挟んだ風船を落とさないように進み、20m先のコーンを折り返しました。悪戦苦闘しながら頑張る姿が微笑ましかったです。

「6年生と交流し絆を深めることができました。いじめをなくすために行動する勇気を持ちましょう!」と力強い閉会の挨拶で終了。

【市岡裕子さんの講演】演題「誰かがあなたを必要としている～すべての人生には意味がある～」

吉本新喜劇で活躍した故岡八郎氏の長女。米国に音楽留学後、ゴスペル歌手として活躍する一方、各地に講演に赴き、ご自身の経験をもとに夢や希望をもてない人たちを元気付けている。

・亭主関白の父を支え続けた母が38歳で「美容師になりたい」という夢に挑戦。血のにじむ努力をしたが目前で叶わず。それが原因で病になり数年後に命を絶った。私は学生靴と買い物籠の日々。近所の人から「頑張りや」と声をかけられたが人間はきついと頑張れない。何も言わずいつも傍にいてくれた友達とすべて受け入れ見守ってくれた幼稚園の先生のおかげで立ち直れた。

・第一発見者の中2の弟はショックからアルコールに奔り30歳の若さで死亡。父は毎日酒を飲み続け、アルコール依存症になり仕事も失う。私は母の願いであった「米国への音楽留学」をし、ゴスペル音楽に出会い、多くのことを学び、今の生活に活かしている。(以下、響いた言葉から!)

○夢を見続け、叶えるように頑張る。それが生きがいになる。○自分を愛するように隣人を愛せ。

○「ありがとう」「～さん素晴らしい」と言葉に出してみよう。○自分を変えられるのも自分です。

○「人間みんな間違ふものだ」と思おう。 ○「あなたは私にとって大事な人だよ」と言う。

○「もうちょっと楽になるまで生きてみよう」「必ず夜が来て、朝が来る」

## 大崎夢づくり・絆づくり集会…大崎中学校区

25～28日は「交流ウィーク」6年生が中学校で中学校生活を体験しました。(授業、部活動等)

11月28日、大崎中学校体育館に、大崎小学校6年生と大崎中学校全校生徒が集まり、標記の集会が行われました。

第1部は講演会。講師・講演内容は第四中学校区と同じです。

第2部は六華会(生徒会)主催の交流会。流しボールゲームは、新聞紙で作った樋に球を流していくゲームです。小学6年からスタートし、中学3年がゴール。「急いで」「樋を早くすぐ次の人に渡して」という声が響きました。続いて聖徳太子ゲーム。ステージ上で六華会書記局4人が異なる言葉を同時に言い、各グループでは相談して4つの言葉を考えました。制限時間は1分間。輪になり額を寄せ合って考え合う姿が印象的でした。感想発表で、小学生代表は「互いの気持ちを理解し支えあうことが大切。いろいろな学年の人と交流して楽しかった。早く中学校に行きたくなった。」中学生代表は「講演を聞いて、一つ一つの命が大事なことを学んだ。交流を通じて誰とでも仲良くなれた。仲良くなるといじめが減る。これからも関わりを深めていきたい。」と力強く話しました。最後に、児童・生徒と教職員全員による平和宣言を行い、会を締めくくりました。

